

こどもの 交通事故防止

保護者の方は、こどもが事故に遭わないために、

「道路には飛び出さないこと」

「道路を渡る前に止まって安全確認すること」

「道路を渡る時は手を上げて目立つ」ことなど、道路の安全な歩き方を一緒に歩いて教えてあげてください。



～道路を渡るときの合い言葉～



①どうろをわたるまえに

止まる



②くるまがきていないか

見る

ドライバーの皆さんは、通学路や学校、公園の周辺では、こどもが飛び出すかもという「かもしれない運転」で、スピードを落として安全運転をお願いします。



③手を上げて

目立つ

進学・進級時における 少年の非行防止・犯罪被害防止



こどもの問題行動等は見逃さない！

～SNSには危険もいっぱい～



進学・進級の時期は、生活環境や交友関係の変化等により、こどもは不安やストレスを抱えやすくなるほか、スマートフォン(特にSNS)の取扱いを巡るトラブルに巻き込まれやすい時期となります。

SNSに起因する犯罪に注意！

SNSは、匿名で不特定多数の者と瞬時に連絡を取ることができる特性から、児童買春等の違法行為の「場」となっており、多くのこどもが犯罪被害に遭っています。



「闇バイト」は犯罪！

SNSで「高額報酬」「ホワイト案件」などの投稿「シグナル」「テレグラム」などのアプリをインストールさせるやりとりは「闇バイト」の可能性があります。「闇バイト」に加われば、必ず捕まり、厳しく処罰されます。



非行防止・犯罪被害防止のためにできること ～フィルタリング設定と家族でのルールづくりを～



こどもたちを有害環境や犯罪被害(加担)から守るため、次の2つを実践しましょう！

① こどもが使用するスマートフォンには「フィルタリング設定」をする。

※ フィルタリングの設定は、スマートフォン契約時に店頭で実施してもらえます。

② 家庭でSNS利用の「ルール作り」をする。

※ コンテンツや利用時間を管理するペアレンタルコントロール機能の積極的な活用を家庭で作るSNS使用上のルールの一例

- ☐ 個人が特定される情報は書き込まない。
- ☐ 利用時間を決める。(時間数の上限、時間帯)
- ☐ 知らない人と電話やメール、メッセージの交換はしない。
- ☐ 下着姿などのプライベートな写真を興味本位でやりとりしない。



困ったことがあれば、
警察に相談を！

県警HP内
相談窓口一覧→

